

平成30事業年度

# 決算報告書

(平成30年4月1日～平成31年3月31日)



国立大学法人  
東京医科歯科大学

# 平成30事業年度 決算報告書

(平成30年4月1日～平成31年3月31日)

(単位:百万円)

区分	予算額	決算額	差額 (決算-予算)	備考
収入				
運営費交付金	13,867	14,181	314 (注1)	
施設整備費補助金	130	115	△ 14 (注2)	
補助金等収入	870	950	80 (注3)	
大学改革支援・学位授与機構施設費交付金	32	32	-	
自己収入	38,259	39,777	1,517	
授業料、入学料及び検定料収入	1,635	1,645	10	
附属病院収入	36,026	37,478	1,451 (注4)	
財産処分収入	-	-	-	
雑収入	597	654	56 (注5)	
産学連携等研究収入及び寄附金収入等	5,069	5,980	911 (注6)	
引当金取崩	-	304	304 (注7)	
長期借入金収入	487	487	-	
目的積立金取崩	-	-	-	
計	58,717	61,830	3,113	
支出				
業務費	51,068	49,984	△ 1,084	
教育研究経費	13,088	11,525	△ 1,563 (注8)	
診療経費	37,979	38,458	479 (注9)	
施設整備費	650	635	△ 14 (注10)	
補助金等	870	950	80 (注11)	
産学連携等研究経費及び寄附金事業費等	5,069	5,420	351 (注12)	
長期借入金償還金	2,411	2,409	△ 2	
計	60,070	59,400	△ 669	
収入-支出	△ 1,353	2,429	3,782	

○ 予算と決算の差異について

- (注1) 運営費交付金については、特殊要因経費及び機能強化経費の追加配分があったことや、予算においては翌事業年度に計画している予算額を含んでいないことから、予算額に比して決算額が314百万円多額となっております。
- (注2) 施設整備費補助金については、施設整備費補助金の受入額が設計変更等により見込みを下回ったことから、予算額に比して決算額が14百万円少額となっております。
- (注3) 補助金等収入については、補助金等の受入額が見込みを上回ったことから、予算額に比して決算額が80百万円多額となっております。
- (注4) 附属病院収入については、平均在院日数の短縮などに努めるとともに、高額薬剤適用患者の増加等に伴い診療単価が上昇したことから、予算額に比して決算額が1,451百万円多額となっております。
- (注5) 雑収入については、主に財産貸付料等の増収に努めたことから、予算額に比して決算額が56百万円多額となっております。
- (注6) 産学連携等研究収入及び寄附金収入等については、予算段階では予定していなかった受託研究等の獲得に努めたことから、予算額に比して決算額が911百万円多額となっております。
- (注7) 引当金取崩については、退職手当及び賞与の支払いに伴い相当額について引当金を取り崩したことから、予算額に比して決算額が304百万円多額となっております。
- (注8) 教育研究経費については、経費の節減に努めたことや翌事業年度への繰り越しを行ったことから、予算額に比して決算額が1,563百万円少額となっております。
- (注9) 診療経費については、高額薬剤費の増加や水道光熱費の増加等により、予算額に比して決算額が479百万円多額となっております。
- (注10) 施設整備費については、(注2)に示した理由により、予算額に比して決算額が14百万円少額となっております。
- (注11) 補助金等については、(注3)に示した理由により、予算額に比して決算額が80百万円多額となっております。
- (注12) 産学連携等研究経費及び寄附金事業費等については、(注6)に示した理由により、予算額に比して決算額が351百万円多額となっております。